

2025（令和7）年度予算について

学校法人 桃山学院
理事長 出田 善蔵

2025（令和7）年度学校法人桃山学院の予算は、予算会議の議を経て、2025年3月25日（火）開催の評議員会後の理事会で承認され成立いたしましたので、ここに予算の概要と予算書類の公開を以下のとおり行います。

■ 資金収支予算概要について

資金収支予算書は、予算編成を通して当該年度の諸活動に対応するすべての資金収入と資金支出の内容を明らかにするとともに、支払資金の顛末も明らかにする書類です。

2024年度補正後予算額との比較で示せば次表のとおりです。

資金収支予算比較総括表

（単位：百万円）

項 目	2025年度予算額	2024年度補正後予算額	増 減
前年度繰越支払資金	10,555	13,200	△ 2,645
資金収入	14,898	12,995	1,902
資金支出	14,751	15,641	△ 889
翌年度繰越支払資金	10,702	10,555	147

<注> 端数処理（百万円未満を切り捨て）の関係で増減額が合致しないことがあります。

以上のように資金収入につきましては、合計で19億200万円増の148億9,800万円を計上しました。これは、2026年に開設予定の工学部（設置認可申請中）新棟建設費の一部として減価償却引当特定資産取崩収入を15億円計上し、「その他の収入」が14億8,370万円増加したこと、高等教育の修学支援新制度や大阪府の私立高校等授業料無償化制度の改正等により「補助金収入」が7億1,885万円増加したことが主な要因としてあげられます。

一方資金支出では、合計で8億8,900万円減の147億5,100万円を計上しました。これは、前年度に減価償却引当特定資産繰入支出を5億円計上していたことにより「資産運用支出」が5億円減少したこと、前年度に教育研究に係るシステム（SAINT）更新等の大規模な支出があったことにより「設備関係支出」が9億4,141万円減少したことが主な要因としてあげられます。

その結果、資金収入が資金支出を上回り、翌年度繰越支払資金は1億4,700万円増の107億200万円を見込んでいます。

■ 事業活動収支予算概要について

事業活動収支予算書は、予算編成を通して当該年度の事業活動収入と事業活動支出の内容を明らかにし、当該年度に基本金に組み入れる額を控除した諸活動に対応する全ての事業活動収入と事業活動支出の均衡状態（経営状態）を表す書類です。

2024年度補正後予算額との比較で示せば次表のとおりです。

事業活動収支予算比較総括表

(単位：百万円)

項 目	2025年度予算額	2024年度補正後予算額	増 減
事業活動収入 ①	13,252	12,934	318
事業活動支出 ②	13,430	13,538	△ 108
基本金組入前当年度収支差額③(①-②)	△ 177	△ 604	426
基本金組入額 ④	△ 2,530	△ 2,094	△ 435
当年度収支差額 ⑤ (③ + ④)	△ 2,707	△ 2,698	△ 8
前年度繰越収支差額 ⑥	△ 7,528	△ 4,962	△ 2,566
基本金取崩額 ⑦	0	132	△ 132
翌年度繰越収支差額 ⑧(⑤+⑥+⑦)	△ 10,236	△ 7,528	△ 2,707

<注> 端数処理（百万円未満を切り捨て）の関係で増減額が合致しないことがあります。

以上のように事業活動収入については、3億1,800万円増の132億5,200万円を計上しました。これは資金収支と同様、高等教育の修学支援新制度や大阪府の私立高校等授業料無償化制度の改正等により「経常費等補助金」が7億1,343万円増加したことが主な要因としてあげられます。

一方、事業活動支出については、1億800万円減の134億3,000万円を計上しました。これは、前年度に桃山学院大学と桃山学院教育大学の大学統合にあたり両大学で重複する図書等を整理するなど「資産処分差額」を2億107万円計上していたことから「資産処分差額」が1億8,780万円減少したことが主な要因になります。

その結果、収入増・支出減となり基本金組入前当年度収支差額は、前年度から4億2,600万円好転し、1億7,700万円の支出超過となりました。

なお、基本金組入額は25億3,000万円を計上しました。その主な内容につきましては、2026年に開設予定の工学部（設置認可申請中）新棟建設による組入となります。

これらの要因から2025年度予算では、当年度収支差額は△27億700万円となり、翌年度繰越収支差額は△102億3,600万円となる見込みです。

事業活動収入の部合計 132 億 5,268 万円

事業活動支出の部合計 134 億 3,021 万円

